

## 「職業人講話」実施報告書

- 1.日時：2024年6月17日（月）10：35～12：10
- 2.場所：大津市立富士見小学校
- 3.対象者：第6学年 全生徒数 68名 2クラス
- 4.講師：\*パティシエール：(株)パレット 清水郁美（しみず いくみ）様  
\*警察官：滋賀県大津市警察署 富士見派出所 鳥居能光（とりい よしみつ）様  
伊藤 様  
同上



パティシエール



想像力を発揮できる仕事、自分の好きなことを仕事にしたい。

お菓子作りが好きなので、その道に進みたい。と思っていたそうです。

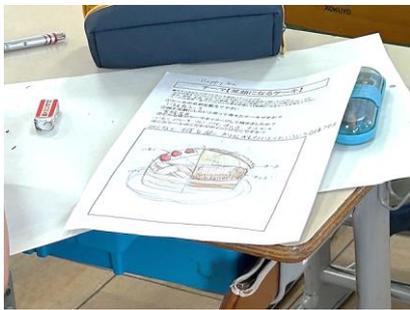
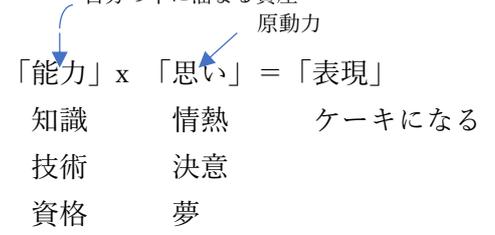
高校生の頃に、自分がやったことで、周りの人に喜んでもらえるような仕事をしたいとの思いで、京都にある専門学校に進学し、パティシエールになられたとのこと。

仕事に就かれて、一人前のパティシエールになるために、仕事が終わった後に一生懸命練習するなど努力をされたそうです。

今日の講話のために、いろいろな道具を持参され、生徒に見せながら説明されていました。



自分の作りたいケーキについて、生徒に考えてもらいました。お母さんに喜んでもらいたいとの思いで、描かれた自信作を発表してもらいました。わずかな時間でしたが、みんなは一生懸命考えていました。



警察官

警察官の仕事は、人や財産を守る。人々の安全を守る。世の中の秩序を守るなど、いろいろな仕事があります。警察官になるには、高校を卒業した人も大学を卒業した人も警察学校に入り、体力を鍛え、剣道、柔道、拳銃の練習、逮捕術など専門分野を学びます。敬礼の仕方なども学ぶそうです。「小学校6年生の皆さんは、今学校での勉強を一生懸命やって欲しいです。」と話されていました。





警察官が勤務中に身につけておられる装備（警棒、手錠、無線機など）や盾は日頃触れることはできませんが、回覧して触ることができたので、児童は興味を持って触っていました。

以上

2024年6月25日

「仕事人と語ろう！」G.

松原弘保